

都市再生整備計画(第2回変更)

あんじょうたなばた
安城七夕地区

愛知県 あんじょうし
安城市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	安城市	地区名	安城七夕地区	面積	20.1 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標	
日本三大七夕まつり「安城七夕まつり」を活かした賑わいの創出	
目標 1	七夕広場の活用により、交流人口を増加し、商店街の活性化を図る。
目標 2	昔からの生竹による笹飾りを、より魅力的に演出し、「七夕まつり」の独自性を図る。
目標 3	新たな仕掛けにより、市民主導型の「七夕まつり」へリニューアルし、市民活動の活性化を図る。

目標設定の根拠	
まちづくりの経緯及び現況	
<p>本地区のJR安城駅の周辺は、本市の中心市街地で、商業・業務機能が集積する拠点である。近年、全国の地方都市と同様に、商業等の経営者の高齢化、後継者難等による空き店舗の増加に加え、地区内の更生病院(市民病院クラス)の移転による影響からか、人の往来が少なくなり、賑わいが失われつつある。一方で住宅需要が高く、大規模マンションの建設が地区内や周辺で進んでおり、新たな住民交流が活発になることも期待されている。</p> <p>本地区は、将来都市像「市民とともに育む環境首都・安城」とした第7次安城市総合計画において、中心市街地として都市の再生を図る地区として位置付けが与えられている。</p>	

課題	
<p>人口減少・高齢化の時代において、市民生活の安定化、都市経営のための経済活力の確保のためには中心市街地の活性化が都市の最大かつ喫緊の課題である。</p> <p>「安城七夕まつり」は50年以上の歴史があり、集客力のあるお祭りに成長した感はあるが、今後更なる飛躍のため、新たな仕掛けによりリニューアルし、次世代に引き継いでいく必要がある。</p>	

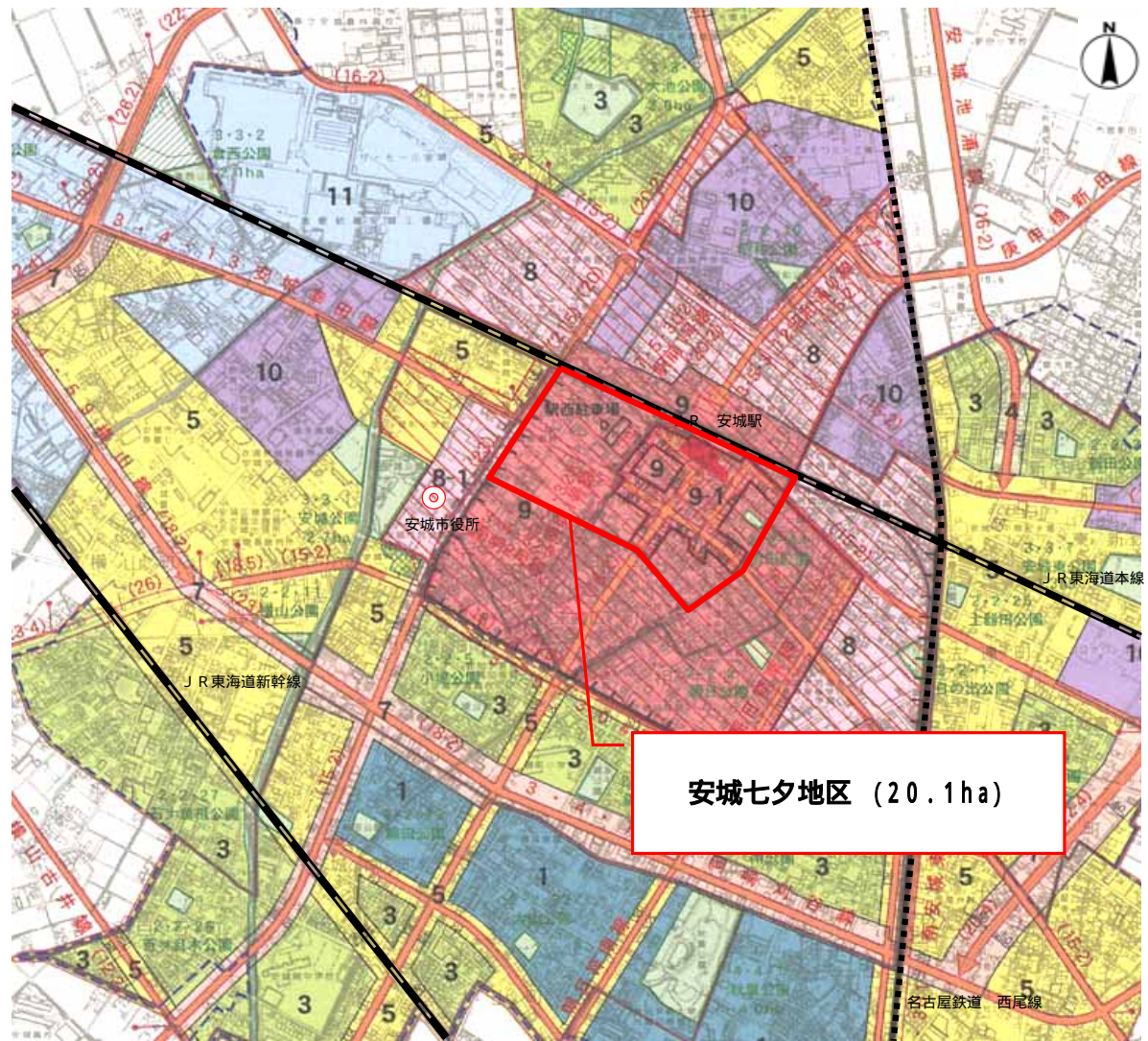
将来ビジョン(中長期)	
<p>第7次安城市総合計画において、「市民とともに育む環境首都・安城」を目指すべき都市像としている。</p> <p>都市計画マスタープランにおいて、本市の「都市拠点」として、商業・業務機能、文化機能、アミューズメント機能等複合的機能の集積を図り、都市的サービス施設の集積による都心居住性・利便性の向上を図ることにより中心市街地への人口定着を誘導し、土地の高度化を促進する方針である。</p>	

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
指標 1 中心市街地への来街者数	人	JR安城駅の1日平均乗降客数(乗車人数×2)	交流人口の増進により中心市街地の活性化を目指す。	20,012	H16	21,200	H22
指標 2 道路の整備に関する満足度	%	6段階評価の市民アンケート調査のうち、評価の高い3段階の割合	七夕笹飾りのため道路空間を整備し、都市の美空間形成を図る。	46.0	H15	50.0	H22
指標 3 商業の振興に関する満足度	%	6段階評価の市民アンケート調査のうち、評価の高い3段階の割合	「安城七夕まつり」への来街者の増加を足掛かりに、まちの賑わいの創出を図る。	24.4	H15	30.0	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 <七夕広場を活用した商店街の活性化></p> <p>■ 中心市街地における交流の場を創出することにより、交流人口・交流機会を増やし、商店街などの活性化と賑わいの創出を図る。</p>	<p>地域生活基盤施設(基幹事業/広場、自転車駐車場)、市道御幸本町8号線(基幹事業/道路)</p>
<p>整備方針2 <都市の美空間の創出によるまちの独自性を創造></p> <p>■ 電線類の地中化により、上空占用していた架空線を無くし、笹飾りの装飾空間を創出する。</p>	<p>市道御幸本町1号線(基幹事業/道路)、市道御幸本上条線(基幹事業/道路)、まちづくり活動推進事業(提案事業)、市道御幸本赤松線(関連事業/道路)</p>
<p>整備方針3 <新たな仕掛けで、「安城七夕まつり」の活性化></p> <p>■ 中心市街地に、新たな仕掛けの場となる広場や既存建造物を活用した市民活動の場を創出する。</p>	<p>地域生活基盤施設(基幹事業/広場)、事業活用調査(提案事業)</p>
<p>その他</p> <p>■ 地区の特性は……</p> <p>本地区は、中心市街地活性化基本計画(平成12年3月)に定められた区域約160haの一部である。本市の中心市街地は、JR東海道本線により駅北地区と駅南地区に分けられる。商業施設の集積が比較的高いのは駅南地区であり、「末広」「御幸」「安城セントラル」「花ノ木」「朝日」「日の出」「本通り」など7商店街振興組合が中心となって商業地区を形成している。駅北地区は「北明治」商店街振興組合を中心に活動している。</p> <p>■ 重要となるキーワードは……</p> <p>「交流機会の創出」——当地区内には、平成14年4月29日まで安城更生病院(市民病院クラス)があり、日常的に診療や入院者の見舞いなどの来客者により、中心市街地には交流人口があり、地方都市レベルの賑わいもあった。しかし、病院の移転後は、明らかに地区内の交流人口は減りつつある状況となっている。</p> <p>■ これからのまちづくりは……</p> <p>「安城七夕まつり」は、昭和29年の夏、JR安城駅(当時の国鉄安城駅)前の本町発展会の有志が「夏の観光資源」にしようと、近郊農家の農閑期と旧暦の7月7日に合わせて計画したのがきっかけとなってはじまり、後の昭和53年には日本商工会議所の創立百年記念行事の全国郷土祭で仙台・平塚と並び、安城が「日本三大七夕まつり」のひとつに紹介されるまでになりました。先人のまちづくりの意志を引継ぎ、平成13年7月から中心市街地の活性化を図るため、市民団体や関係組織の活動や知見を有機的に連携させるタウンマネージメント機関として「まちづくりAnjo」が設立されました。当地区のまちづくりは、当団体の設立趣旨にもあるように「みんなで取り組む中心市街地の活性化」を目指し、市民主導のまちづくりを実現したいと考えている。</p>	

安城七夕地区(愛知県安城市)	面積	20.1 ha	区域	安城市御幸本町および朝日町、昭和町の各一部
----------------	----	---------	----	-----------------------



安城七夕地区 (20.1ha)

安城七夕地区(愛知県安城市) 整備方針概要図

目標	日本三大七夕まつり「安城七夕まつり」を活かした賑わいの創出	代表的な指標	中心市街地への来街者数 (人)	20,012	(16年度)	→	21,200	(22年度)
			道路の整備に関する満足度 (%)	46.0	(15年度)	→	50.0	(22年度)
			商業の振興に関する満足度 (%)	24.4	(15年度)	→	30.0	(22年度)

